

行/事/予/定

7~8月

- [延期] おおとし防災の日イベント
- [中止] 榎野川水系クリーンキャンペーン
- [中止] 第34回おおとし夏まつり
- [中止] 大歳地区三世代交流グラウンドゴルフ大会



大歳自治振興会 事業報告、事業計画

例年4月に行われている大歳自治振興会総会は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面評決となりました。役員改選や規約改正等の重要案件については、7月12日(日)の臨時総会で決議されます。大歳自治振興会は地域住民のみなさんが助け合い、人に優しい、より安全で安心なまちを目指して地域づくり活動を一步一步前進させてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【令和元年度事業実績・決算】

【自主財源】

収入の部 (総額: 4,730,540円)

- 会費: 自治会員会費
- 交付金: 市道除草業務委託金、緑化奨励金等
- 負担金: 地区社会福祉協議会、活動推進委員会等人件費負担金

支出の部 (総額: 3,449,131円)

- 事業費: 草刈り隊による道路維持事業の実施、体育祭の開催
- 団体助成費: 青少年健全育成活動や女性部会活動への助成
- 負担金: 市自治会連合会、特別林野区への負担金等
- 事務局運営費: 住民便覧作成、事務局員人件費等

【地域づくり活動交付金財源】

収入の部 (総額: 10,945,042円)

- 交付金: 地域づくり交付金
- 雑収入: 講座参加料、預金利息
- 支出の部 (総額: 10,945,042円)
- 地域振興: かわら版の発行、協育ネットカレンダー作成支援等
- 地域福祉: 配布用防災グッズ購入、どんど焼き等
- 安心安全: わんわんパトロールグッズ、防災イベント等
- 環境づくり: 法定外公共物等整備事業補助、幸福神社設置等
- 地域個性創出: 夏まつり、大歳まつりの実施、1自治会1事業実施支援等
- 協議会運営: 事務局員人件費、会議費等

【令和2年度事業計画・予算】

【自主財源】

収入の部 (予算額: 4,947,500円)

- 会費: 自治会員会費
- 負担金: 地区社会福祉協議会、活動推進委員会等人件費負担金

支出の部 (予算額: 4,947,500円)

- 事業費: 草刈り隊による道路維持事業の実施等
- 団体助成費: 青少年健全育成活動や女性部会活動等への助成
- 負担金: 市自治会連合会、特別林野区への負担金等
- 事務局運営費: 通信費、事務局員人件費等

【地域づくり活動交付金財源】

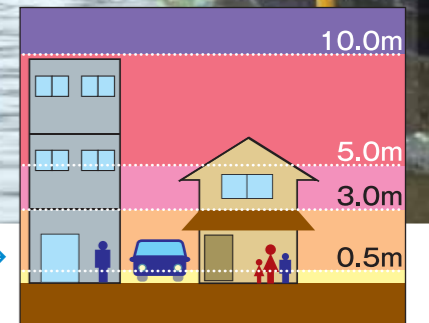
収入の部 (予算額: 11,630,000円)

- 交付金: 地域づくり交付金
- 支出の部 (予算額: 11,630,000円)
- 地域振興: かわら版の発行、協育ネットカレンダー作成支援等
- 地域福祉: 安心カード配布、親子参加イベントの開催等
- 安心安全: おおとし防災の日イベント開催、交通安全教室開催等
- 環境づくり: 法定外公共物等整備事業補助、幸福神社設置等
- 地域個性創出: 大歳まつりの実施、1自治会1事業実施支援、史跡看板設置等
- 協議会運営: 事務局員人件費、会議費等

編集後記 誰でも2つの災害が重なって起きるとは思ってもみない。この季節に起きるであろう水害と直近の新型コロナウイルス感染症が同時にふりかかってくる場合のことを想定して準備をしておく必要がある。今さらながら「備えあれば憂いなし」(内田)



↑平成21年大歳大洪水(岩富) この2倍の洪水が想定されています
←平時の道路



防災特集

2つの難関

コロナ×水害に挑む防災対策を

「ハザードマップ」が新しく

今、新しい「ハザードマップ」が各家庭に配られています。中国地方西部で観測された最大降水量をもとに浸水想定が見直され、大歳では3m

(1階が全滅)~5m(2階の天井近くまで)の浸水区域が広範囲に新たに設定されたほか、河川沿岸の家屋倒壊等も想定されています。大歳地域交流センターや大歳小などの避難所も最大3mの浸水区域の中にあり、緊急避難場所にまず逃げるのが肝要です。平成21年の大歳大洪水の2倍の洪水が想定されており、早めの避難の徹底が大きな課題です。

もう一つは、災害がコロナ危機のもとで起こる可能性が高いことです。避難所は「三密」を避けるため4㎡に1人に。大歳地域交流センターの収容人数もこれまでの300人程度からわずか39人に激減し小中学校の体育館も同様の状況です。親戚・知人宅、高層建築等への緊急避難やホテル等の新しい避難所が必要になります。

さらに避難所での衛生や健康管理の徹底、ボランティアの受け入れも三密を避けなければなりません。災害後も課題が山積みです。

県の「率先避難モデル事業」認定の大内・宮島町町内会長 山根定幸さんに聞きました。

榎野川のすぐそばにある宮島町は洪水被害常襲地、でも逆に洪水慣れして住民が避難しない地区でも。これを克服した取り組みをお聞きました。



宮島町町内会長 山根定幸さん

逃げる時は一緒・5世帯で

宮島町では5世帯程度の班をつくり、この班単位で避難することになっています。草刈りやお祭りなどへの参加確認も班単位に行い、すぐに協力できる関係づくりを日常から心がけています。

「避難指示」がでたら各班で行動開始を

誰が避難指示を出し、どう連絡するかは悩みの種。市からレベル4(避難指示)が出たとテレビなどで知ったら、各班で避難行動を開始することに。

赤い旗と黄色い旗

避難することになるかなと考えた時に、玄関に赤い旗を掲げます。避難のため家を出るときには黄色い旗に変えます。全体の避難状況が旗の色でわかり、逃げ遅れた人がでないようにできる仕組みです。



コロナ疲れにふっくら美味しいお弁当

突然の学校閉鎖。3か月にも及ぶ休校に子ども達も家に閉じ込められてげんなりしたことでしょう。家庭保育が難しいご家庭の子ども達は、朝から教室よりも三密状態といわれる放課後児童クラブの部屋でコロナ対策をとりながら3か月間を過ごすことになりました。

こんな時にやさしいお知らせ。仕出し料理の(株)いちやなぎさんで、子どもを児童クラブに預けている従業員のお母さんから「朝から行くので、お弁当をもたせないとい



感謝状とお弁当を描いたちぎり絵

けない。大変なの」と話がでて、社長も賛同して、安く子ども向けの弁当を作ることになりました。3月初旬から5月25日まで、大歳小のさわやか学級でも、この弁当を心待ちにした子が何人もいます。この度代表の児童が「おいしいお弁当ありがとうございます」と感謝状とお弁当を描いたちぎり絵をもって、社長の柳さんにお礼に行きました。

コロナで気持ちが沈みがちの中で、こんな温かい話もありました。



石州街道「通行封鎖」

小郡・柳井田関門

長州藩の方針が攘夷に決定した後の文久3(1863)年4月6日に、藩は萩から藩庁を有事の際に防長二州を指揮する上で便利で、防衛上適切な山口に移転します。毛利治世下の250年余、さびしい寒村の山口がこの移転を境に、政治の中心となっていきます。そして、大歳、小郡を通して山陽道に接続し、山口と赤間関(下関)を結ぶ石州街道も様変わりしていきます。その一つは、藩は警備のために、山口に入る諸口に関門を設置し、無許可での他国人(他藩・他領人)の山口への往来を禁止しました。特に石州街道の小郡口(柳井田交差点付近)と萩往還の鯖山口・勝坂が重視されました。この両者は山陽道から山口への表玄関であると同時に、防衛の最前線となるからです。

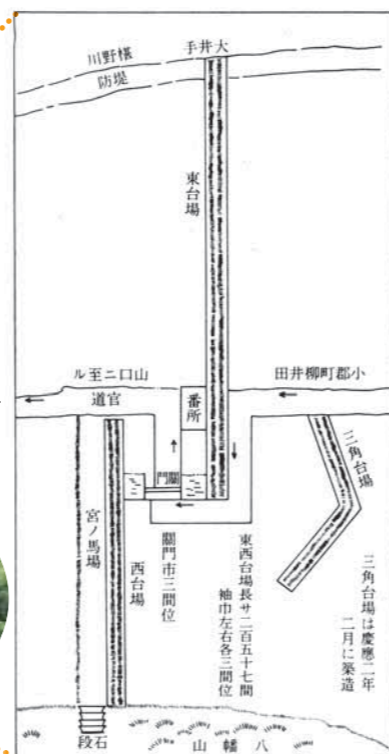
このほかの関門は、石州街道の宮野、萩往還の一ノ坂、そして、山陽道からの間道である鎧峠(鑄銭司

新コーナー 石州街道幕末事件簿 其の1

～平井村)、陶峠(陶村～平野村)、千切峠(切畑村～小鯖村)と肥中街道の吉敷大峠(美祢～山口)です。重要拠点の一つである小郡口(柳井田交差点付近)の関門は、攘夷戦(下関戦争)後の6月～7月にかけて設置されます。関門は一種の関所ですが、非常時には防衛拠点となる軍事的施設でした。鯖山口・勝坂と小郡口の関門が解除されたのは、明治4(1871)年の廃藩置県あとの7月27日ですが、代わりに番所が置かれます。この柳井田関門が設置されている間、影響を受けたのは、石州街道を通り、山口・石州と九州・瀬戸内海方面を往来する旅人たちでした。



山口方面から見た柳井田交差点



柳井田関門の図解 左:山口 右:柳井田 上:榎野川 下:中領八幡宮 「小郡町史」より

Welcome Ootoshi

大歳の気になるお店



焼きたてのパンが並びます

ベーカリーカフェ わいず

今回は、矢原の光山医院から山大通りに向かう新しい道路(東山通り下矢原線)沿い(左側)にある小さなパン屋さん『ベーカリーカフェわいず』です。マンションの1階にあり、入り口に立っている幟旗が目印です。

13年前、当時そこで開催されていたパン教室の先生が始められ、今は田中陽子さんが作り手一人でごんばっておられます。売りは、天然酵母のパン。パン生地を作るのに、天然酵母はゆっくり発酵するので時間がかかります。前日13～14時間かけて仕込み、当日の朝早くからパンの2次発酵、成型、焼きをされるとのこと。「大変ですね!」と言うと、「毎日同じことですからね。あまり大変と思ったことないですよ。」と笑顔で応えられました。

販売のパンは、種類も数も少ないですが、ひとつひとつ丁寧に作られたのがわかります。人気は食パン(270円)とクロワッサン(160円)。食感が優しく、もちり食べ応えあり。店内には、イートインコーナーもあり、カレーとパン、コーヒーと紅茶がオーダーできます。パンがなくなり次第閉店になるので、お求めの方は朝早めに出かけられることをお勧めします。



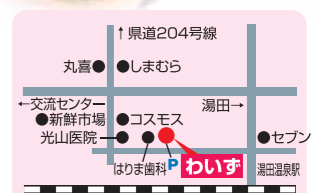
イートインコーナーでゆったりと



天然酵母を使った食パンは午前中に売切れませす



人気のクロワッサン



山口市矢原町2-16
営業時間/月～土曜 8:00～16:30
(なくなり次第 終了)
TEL/083-921-9494
定休日/日曜、祝日
駐車場/店舗前にあります

自治会レポート 矢原住宅自治会編

各自治会にスポットをあて、地域の様子や日頃の悩み等を自治会長さんに伺います。

今回は矢原住宅の自治会長、松本薫さんです。現在の会員数は62世帯で、班は6班です。役員は会長、副会長、会計、女性部、防災の5人で、防災は最近、同じ班が担当されますが、それ以外の任期は1年で、役員ごとに班の持ち回りになっています。会員の3分1以上は高齢者ですが、子育て世代もおられる自治会です。自治会の範囲は、東側は榎野川の土手が境で、その他は下矢原、中矢原、上矢原などの自治会に囲まれています。自治会の取り組みは例年、草刈りや花壇の設置ですが、過去には日帰り旅行もしたことがあります。しかし、今年はコロナウイルスの影響で総会も開かれていません。草刈りも年3回、花壇とその東側の土手を中心に行っていますが、すでに2回は中止になっています。こうした状況下ですが花壇の設置は今年も継続して取り組んでいます。今、矢原住宅は数軒の空き家があります。野良猫が住みついたりして、糞など衛生上の問題や防災上の問題があります。自治会内の課題は、街灯を設置することや、ゴミの分別の徹底などです。自治会長さんは「コロナウイルスの渦中で、活動が制限されていますが、なるべく声掛けして、情報を得ながら、街灯設置、ゴミ分別問題、防災に取り組みたい」と言われます。



矢原住宅自治会長 松本 薫さん

